

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2016年7月15日）

■第1版 第1刷（2016年5月20日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章-1. 周術期の輸液管理					
14	下から2, 3行目	<p>・OUT=1,870 mL(術野蒸発分480mL+出血190mL+血管拡張分1,200 mL)</p> <p>バランスはプラス230 mLでほぼ過不足ないと推計される。</p>	<p>・OUT=2,320mL(維持量450mL+出血190mL+術野蒸発分480mL+血管拡張分1,200mL)</p> <p>バランスはマイナス220 mLでほぼ過不足ないと推計される。</p>		16/06/08
第2章-5. 抗凝固薬、抗血小板薬を処方中の患者の周術期管理					
132	「●処方例」の下, 2行目	クロピドグレル75mg 4錠を 嚙んで 内服し	クロピドグレル75mg 4錠を内服し	「嚙んで」を削除	16/07/15
第2章-10. DVTのリスク評価と予防, そのエビデンス					
164	表3内「予防策」	<p>機械的予防法(表4参照)</p> <p>化学的予防法(表4参照)</p> <p>機械的予防法+</p> <p>化学的予防法(表4参照)</p>	<p>機械的予防法(表6参照)</p> <p>化学的予防法(表6参照)</p> <p>機械的予防法+</p> <p>化学的予防法(表6参照)</p>	Low risk Moderate risk High risk の3行分	16/06/27
169	例題3 ■答え	<p>BMI 27 > 25 kg/m² で1点, 手術時間は50分で2点で修正Caprini リスクスコア3点. Low risk に分類されるため, 機械的 予防法の適応となる.</p> <p>術直後はベッド上でGCS とIPC を使用し, 早期離床をめざすこととした.</p>	<p>年齢が45歳で1点, BMI 27>25 kg/m² で1点, 手術時間は50分で2点で修正Capriniリスクスコアは4点, Moderate risk に分類されるため, 化学的 予防法の適応となる. 低用量未分画ヘパリン1回5,000 IU 1日2回皮下注射を行うこととした.</p>		16/06/27